

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年5月17日
【四半期会計期間】	第101期第2四半期（自平成23年7月1日至平成23年9月30日）
【会社名】	大王製紙株式会社
【英訳名】	Daio Paper Corporation
【代表者の役職氏名】	取締役社長 佐光 正義
【本店の所在の場所】	愛媛県四国中央市三島紙屋町2番60号 （同所は登記上の本店所在地で実際の業務は「最寄りの連絡場所」で行っています。）
【電話番号】	該当事項はありません。
【事務連絡者氏名】	該当事項はありません。
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区八重洲2丁目7番2号
【電話番号】	（03）6895-1014
【事務連絡者氏名】	常務取締役 阿達 敏洋
【縦覧に供する場所】	大王製紙株式会社東京本社 （東京都中央区八重洲2丁目7番2号） 大王製紙株式会社大阪支店 （大阪市中央区備後町4丁目1番3号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成23年12月14日に提出いたしました第101期第2四半期（自平成23年7月1日至平成23年9月30日）の四半期報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、当該訂正報告書を提出するものであります。

なお、連結財務諸表の記載内容にかかる訂正箇所についてはXBRLの修正も行いましたので、併せて修正後のXBRL形式のデータ一式（表示情報ファイルを含む）を提出いたします。

訂正後の四半期連結財務諸表については、有限責任監査法人トーマツにより、再度四半期レビューを受けており、その四半期レビュー報告書を添付しております。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

第2 事業の状況

3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

第4 経理の状況

1 四半期連結財務諸表

3【訂正箇所】

訂正箇所は_を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第100期 第2四半期 連結累計期間	第101期 第2四半期 連結累計期間	第100期
会計期間	自 平成22年 4月 1日 至 平成22年 9月30日	自 平成23年 4月 1日 至 平成23年 9月30日	自 平成22年 4月 1日 至 平成23年 3月31日
売上高(百万円)	199,491	203,972	410,159
経常利益(百万円)	3,507	2,275	5,665
四半期(当期)純損失() (百万円)	<u>4,460</u>	<u>2,839</u>	<u>18,121</u>
四半期包括利益又は包括利益(百万円)	1,475	3,916	16,506
純資産額(百万円)	<u>131,045</u>	<u>110,436</u>	<u>115,591</u>
総資産額(百万円)	<u>683,247</u>	<u>683,799</u>	<u>672,786</u>
1株当たり四半期(当期)純損失金額() (円)	<u>36.02</u>	<u>22.96</u>	<u>146.36</u>
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	15.1	12.3	12.8
営業活動による キャッシュ・フロー(百万円)	18,713	9,581	41,153
投資活動による キャッシュ・フロー(百万円)	11,595	17,816	25,496
財務活動による キャッシュ・フロー(百万円)	19,171	11,959	20,747
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高(百万円)	117,363	127,929	124,251

回次	第100期 第2四半期 連結会計期間	第101期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成22年 7月 1日 至 平成22年 9月30日	自 平成23年 7月 1日 至 平成23年 9月30日
1株当たり四半期純損失金額() (円)	<u>35.58</u>	<u>12.49</u>

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成していますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。

2. 売上高には、消費税等(消費税及び地方消費税をいう。以下同じ。)は含まれていません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、1株当たり四半期(当期)純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載していません。

4. 第100期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しています。

(訂正後)

回次	第100期 第2四半期 連結累計期間	第101期 第2四半期 連結累計期間	第100期
会計期間	自平成22年4月1日 至平成22年9月30日	自平成23年4月1日 至平成23年9月30日	自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
売上高(百万円)	199,491	203,972	410,159
経常利益(百万円)	3,507	2,275	5,665
四半期(当期)純損失() (百万円)	<u>4,548</u>	<u>2,843</u>	<u>18,234</u>
四半期包括利益又は包括利益(百万円)	1,475	3,916	16,506
純資産額(百万円)	<u>130,645</u>	<u>110,036</u>	<u>115,191</u>
総資産額(百万円)	<u>682,847</u>	<u>683,399</u>	<u>672,386</u>
1株当たり四半期(当期)純損失金額() (円)	<u>36.73</u>	<u>23.00</u>	<u>147.27</u>
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	15.1	12.2	12.7
営業活動による キャッシュ・フロー(百万円)	18,713	9,581	41,153
投資活動による キャッシュ・フロー(百万円)	11,595	17,816	25,496
財務活動による キャッシュ・フロー(百万円)	19,171	11,959	20,747
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高(百万円)	117,363	127,929	124,251

回次	第100期 第2四半期 連結会計期間	第101期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成22年7月1日 至平成22年9月30日	自平成23年7月1日 至平成23年9月30日
1株当たり四半期純損失金額() (円)	<u>36.04</u>	<u>12.56</u>

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成していますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。
2. 売上高には、消費税等(消費税及び地方消費税をいう。以下同じ。)は含まれていません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、1株当たり四半期(当期)純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載していません。
4. 第100期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しています。

第2【事業の状況】

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(訂正前)

(1)業績等の状況

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、以下のとおりとなりました。

連結売上高	203,972百万円	(前年同四半期比 2.2%増)
連結営業利益	5,830百万円	(前年同四半期比 22.1%減)
連結経常利益	2,275百万円	(前年同四半期比 35.1%減)
連結四半期純損失()	<u>2,839百万円</u>	(前年同四半期比 - %)

(2)財政状態

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ11,013百万円増加し、683,799百万円となりました。主な増加要因は、現金及び預金の増加並びにたな卸資産の増加によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ16,168百万円増加し、573,363百万円となりました。主な増加要因は、長期借入金の増加によるものです。

純資産は、110,436百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.5%減少し、12.3%となりました。

(訂正後)

(1)業績等の状況

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、以下のとおりとなりました。

連結売上高	203,972百万円	(前年同四半期比 2.2%増)
連結営業利益	5,830百万円	(前年同四半期比 22.1%減)
連結経常利益	2,275百万円	(前年同四半期比 35.1%減)
連結四半期純損失()	<u>2,843百万円</u>	(前年同四半期比 - %)

(2)財政状態

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ11,013百万円増加し、683,399百万円となりました。主な増加要因は、現金及び預金の増加並びにたな卸資産の増加によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ16,168百万円増加し、573,363百万円となりました。主な増加要因は、長期借入金の増加によるものです。

純資産は、110,036百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.5%減少し、12.2%となりました。

第4【経理の状況】

2. 監査証明について

(訂正前)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成23年10月1日から平成23年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けています。

(訂正後)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成23年10月1日から平成23年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けています。

なお、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出していますが、訂正後の四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受け、四半期レビュー報告書を受領しています。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(訂正前)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	130,153	133,719
受取手形及び売掛金	93,952	94,404
たな卸資産	³ 54,425	³ 63,563
その他	12,035	14,785
貸倒引当金	407	4,880
流動資産合計	290,159	301,592
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	71,208	69,739
機械装置及び運搬具(純額)	147,583	142,132
土地	89,943	89,903
その他(純額)	13,570	13,960
有形固定資産合計	322,305	315,736
無形固定資産		
のれん	12,092	12,432
その他	2,969	2,946
無形固定資産合計	15,061	15,379
投資その他の資産	⁴ 45,141	⁴ 50,941
固定資産合計	382,508	382,057
繰延資産	118	150
資産合計	672,786	683,799

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	42,430	42,192
短期借入金	62,320	63,470
1年内返済予定の長期借入金	80,713	81,247
未払法人税等	1,571	1,441
引当金	4,223	4,171
その他	53,696	53,451
流動負債合計	244,954	245,974
固定負債		
社債	35,560	35,430
長期借入金	252,736	268,149
長期設備関係未払金	4,974	4,570
退職給付引当金	13,247	13,542
役員退職慰労引当金	1,240	1,130
環境対策引当金	358	331
関係会社事業損失引当金	1,501	1,501
その他	2,621	2,732
固定負債合計	312,240	327,389
負債合計	557,195	573,363
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,415	30,415
資本剰余金	29,402	29,402
利益剰余金	45,384	42,024
自己株式	3,697	3,830
株主資本合計	101,504	98,011
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,317	1,266
為替換算調整勘定	12,231	12,941
その他の包括利益累計額合計	15,549	14,207
少数株主持分	29,636	26,633
純資産合計	115,591	110,436
負債純資産合計	672,786	683,799

(訂正後)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	130,153	133,719
受取手形及び売掛金	93,952	94,404
たな卸資産	³ 54,425	³ 63,563
その他	12,035	14,785
貸倒引当金	407	4,880
流動資産合計	<u>290,159</u>	<u>301,592</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	<u>71,199</u>	<u>69,730</u>
機械装置及び運搬具(純額)	<u>147,578</u>	<u>142,127</u>
土地	<u>89,556</u>	<u>89,517</u>
その他(純額)	<u>13,570</u>	<u>13,960</u>
有形固定資産合計	<u>321,904</u>	<u>315,335</u>
無形固定資産		
のれん	12,092	12,432
その他	2,969	2,946
無形固定資産合計	<u>15,061</u>	<u>15,379</u>
投資その他の資産	⁴ 45,141	⁴ 50,941
固定資産合計	<u>382,108</u>	<u>381,656</u>
繰延資産	118	150
資産合計	<u>672,386</u>	<u>683,399</u>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	42,430	42,192
短期借入金	62,320	63,470
1年内返済予定の長期借入金	80,713	81,247
未払法人税等	1,571	1,441
引当金	4,223	4,171
その他	53,696	53,451
流動負債合計	244,954	245,974
固定負債		
社債	35,560	35,430
長期借入金	252,736	268,149
長期設備関係未払金	4,974	4,570
退職給付引当金	13,247	13,542
役員退職慰労引当金	1,240	1,130
環境対策引当金	358	331
関係会社事業損失引当金	1,501	1,501
その他	2,621	2,732
固定負債合計	312,240	327,389
負債合計	557,195	573,363
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,415	30,415
資本剰余金	29,402	29,402
利益剰余金	44,536	41,172
自己株式	4,162	4,314
株主資本合計	100,190	96,674
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,317	1,266
為替換算調整勘定	11,227	11,937
その他の包括利益累計額合計	14,545	13,203
少数株主持分	29,545	26,565
純資産合計	115,191	110,036
負債純資産合計	672,386	683,399

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

(訂正前)

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	199,491	203,972
売上原価	158,658	163,246
売上総利益	40,832	40,725
販売費及び一般管理費	33,351	34,894
営業利益	7,481	5,830
営業外収益		
受取利息	145	149
受取配当金	410	354
不動産賃貸料	370	230
その他	890	858
営業外収益合計	1,817	1,593
営業外費用		
支払利息	4,248	3,968
その他	1,543	1,180
営業外費用合計	5,791	5,149
経常利益	3,507	2,275
特別利益		
受取保険金	137	152
固定資産売却益	230	1
国庫補助金	500	-
その他	91	1
特別利益合計	959	155
特別損失		
固定資産圧縮損	452	-
災害による損失	179	854
投資有価証券評価損	8,497	1,216
貸倒引当金繰入額	0	4,474
その他	500	344
特別損失合計	9,629	6,890
税金等調整前四半期純損失()	5,162	4,460
法人税、住民税及び事業税	1,083	1,039
法人税等調整額	2,906	267
法人税等合計	1,823	772
少数株主損益調整前四半期純損失()	3,339	5,232
少数株主利益又は少数株主損失()	1,121	2,392
四半期純損失()	4,460	2,839

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	3,339	5,232
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,222	2,037
為替換算調整勘定	1,358	722
その他の包括利益合計	1,863	1,315
四半期包括利益	1,475	3,916
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>2,610</u>	<u>1,497</u>
少数株主に係る四半期包括利益	<u>1,134</u>	<u>2,419</u>

(訂正後)

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	199,491	203,972
売上原価	158,658	163,246
売上総利益	40,832	40,725
販売費及び一般管理費	33,351	34,894
営業利益	7,481	5,830
営業外収益		
受取利息	145	149
受取配当金	410	354
不動産賃貸料	370	230
その他	890	858
営業外収益合計	1,817	1,593
営業外費用		
支払利息	4,248	3,968
その他	1,543	1,180
営業外費用合計	5,791	5,149
経常利益	3,507	2,275
特別利益		
受取保険金	137	152
固定資産売却益	230	1
国庫補助金	500	-
その他	91	1
特別利益合計	959	155
特別損失		
固定資産圧縮損	452	-
災害による損失	179	854
投資有価証券評価損	8,497	1,216
貸倒引当金繰入額	0	4,474
その他	500	344
特別損失合計	9,629	6,890
税金等調整前四半期純損失()	5,162	4,460
法人税、住民税及び事業税	1,083	1,039
法人税等調整額	2,906	267
法人税等合計	1,823	772
少数株主損益調整前四半期純損失()	3,339	5,232
少数株主利益又は少数株主損失()	1,208	2,388
四半期純損失()	4,548	2,843

(訂正後)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	3,339	5,232
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,222	2,037
為替換算調整勘定	1,358	722
その他の包括利益合計	1,863	1,315
四半期包括利益	1,475	3,916
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>2,698</u>	<u>1,501</u>
少数株主に係る四半期包括利益	<u>1,222</u>	<u>2,414</u>

【注記事項】

(1株当たり情報)

(訂正前)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
1株当たり四半期純損失金額()	36円2銭	22円96銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額()(百万円)	4,460	2,839
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失金額() (百万円)	4,460	2,839
普通株式の期中平均株式数(千株)	123,822	123,664

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また潜在株式が存在しないため、記載していません。

(訂正後)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
1株当たり四半期純損失金額()	36円73銭	23円00銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額()(百万円)	4,548	2,843
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失金額() (百万円)	4,548	2,843
普通株式の期中平均株式数(千株)	123,822	123,664

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また潜在株式が存在しないため、記載していません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年5月17日

大王製紙株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 北田 隆 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 吉井 修 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている大王製紙株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、大王製紙株式会社及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

その他の事項

四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は、四半期連結財務諸表を訂正している。なお、当監査法人は、訂正前の四半期連結財務諸表に対して平成23年12月12日に四半期レビュー報告書を提出した。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。